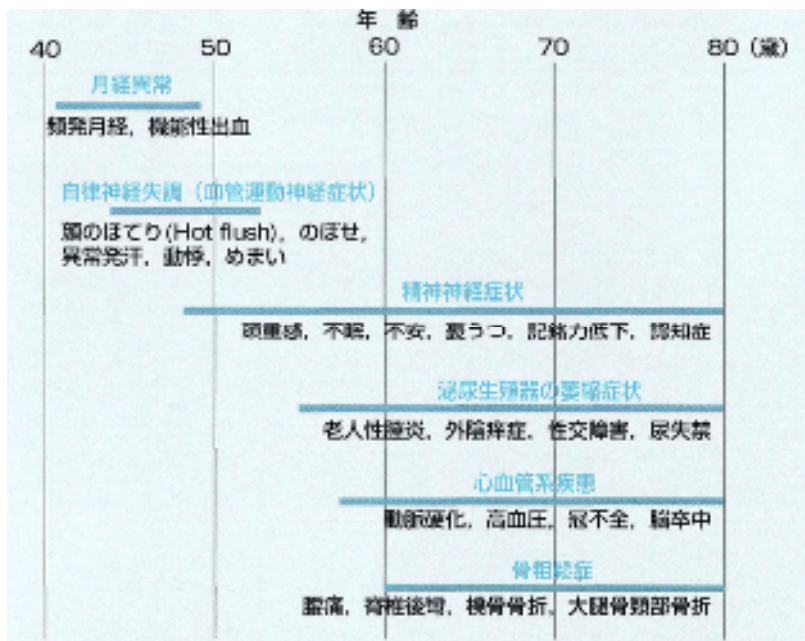


プラセンタ(胎盤)治療

胎盤のことをPlacenta(プラセンタ)といい、更年期障害、関節痛、美容などに用いられています。プラセンタ製剤には、多種のアミノ酸、核酸、ミネラルが含まれており“自然治癒力の向上”，“アンチエイジング効果”をもたらします。薬理作用については数多くの研究が行われ、幾多の有用な作用が報告されています。現在、肝炎、更年期障害に対して保険適応が厚生労働省から認可されている副作用の少ない医薬品です。

女性は更年期に入ると卵巣機能が低下し、女性ホルモンの欠乏に伴い様々な症状を呈します。更年期症状に対して、最も効果が期待できる治療はホルモン補充療法ですが、副作用が多少なりともあるためか、日本では浸透率が低いのが現状です。そのため、ホルモン補充療法に代わる治療法としてプラセンタ製剤に注目が集まっています。



(小池浩司：更年期からの輝き一若さの秘訣・ホルモン療法のすすめ)

プラセンタは、これら更年期症状の多くに効果が実証されており、またアンチエイジング効果についても期待できます。

- ・更年期症状緩和
- ・関節痛(腰痛、ひざ痛、肩こり)：抗炎症作用、免疫調節作用により、鎮痛効果があると考えられます。
- ・皮膚症状の改善(しわ、たるみ、しみ、乾燥、弾力性)：顔の皮脂、水分量を増加させ、皮膚線維芽細胞に働きコラーゲン産生を促進し

ます。

- ・認知機能：女性ホルモン低下により、記憶機能を司る海馬の機能が低下しますが、ホルモン補充と同様に、プラセンタによる神経細胞保護作用が報告されており、記憶力の低下を抑える効果があると考えられています。
- ・アレルギー疾患の改善：アトピー、気管支喘息などに効果が期待できます。
- ・うつ病、自律神経失調症、不眠症
- ・乳汁分泌障害、月経痛、月経前諸症状の改善

当院で使用するプラセンタ製剤は、ウイルス感染症のない、日本人女性から提供される胎盤から抽出しており、高い安全性が保障されています。

